

正誤表(2023年3月現在)

『臨床検査のガイドラインJSLM2021』

この度は、上記書籍をご購入頂きましてありがとうございました。  
以下の箇所に関して誤りがありましたので、ここに訂正し深くお詫び申し上げます。

頁	項目	誤	正
69	糖代謝検査	図3が欠落している	下図①追加
461	共用基準範囲	表中「補体蛋白4」「ヘモグロビンA1c」が欠落している	下図②追加
470	執筆者一覧	執筆者名が欠落している	稲田 麻里 千葉大学医学附属病院 遺伝子診療部
471	執筆者一覧	執筆者名が欠落している	山口 和也 千葉大学医学附属病院 遺伝子診療部

① 69頁 糖代謝検査 図3

コントロール目標値 <sup>注4)</sup>			
目標	血糖正常化を <sup>注1)</sup> 目指す際の目標	合併症予防 <sup>注2)</sup> のための目標	治療強化が <sup>注3)</sup> 困難な際の目標
HbA1c (%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

図3 合併症予防のために血糖コントロール目標

治療目標は、年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定。

注1) 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物治療中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。

注2) 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130 mg/dL未満、食後2時間血糖値180 mg/dL未満をおおよその目安とする。

注3) 低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。

注4) いずれも成人に対しての目標値であり、また妊娠期は除くものとする。

[文献1)より引用]

② 461頁 共用基準範囲

補体蛋白4	C4	mg/dL	11	31
ヘモグロビンA1c	HbA1c	%(NGSP)	4.9	6.0